

人権だより

宇和高校人権委員会

作成者：人権委員

2019.07.08

◇人権ホームルーム活動について

6月下旬、各クラスの係や人権委員が中心となり、人権ホームルーム活動が行われました。それぞれの活動様子やその感想の一部を学年別に紹介します。

- 1年)「よりよい人間関係をつくろう」というテーマのもと、「差別意識はどうして生まれるのか」「よりよい人間関係を作り上げるためにどうしたらいいのか」について話し合いました。
- 2年)「解放運動の歴史」というテーマのもと、「中世と近世の差別の違い」「差別解消」について考えました。
- 3年)「進路保障の取組」というテーマのもと、これから就職や進学のために面接を受験する生徒たちは差別につながる14項目について確認しました。

～ 1年生 ～

- 話し合いの中で出た、相手の良いところを探すという点を意識して生活していきたいと思います。
- 高校生になった今だからこそ分かるが多かったように思います。先生が最後に言っていた「周りに目を向け、小さいことにも気付く力」を身に付けていきたいです。
- 気付いたら自分がいじめる側に入っていることもあるかもしれないので、差別がなくなるために人が意識していく必要があると分かりました。



～ 2年生 ～

- いじめ・差別がなくなるのは、どこかに「どうでもいい」という考えがあるからではないかと思った。
- 差別されている人々が抗議していたことを知り、差別されてきた人々も諦めずに戦ってきたんだと思った。

～ 3年生 ～

- 自分の能力に関係がないことで就職できないのはおかしいと感じました。「その質問には答えられません。」と言える人間になりたいと思いました。
- 現代社会にまだ残っている差別意識を自分たちで解決する必要性を感じた。一人でも多くの若者が人権意識を高めていく必要があると思った。
- 今回の模擬面接とは若干異なるかもしれないが、本番の面接では質問の内容を理解し、毅然とした態度で臨んでいきたい。



◇おわりに

今回の活動を通して、人権意識が深まったのではないのでしょうか？身近な生活を振り返って、人権について考えてみてください！